

指導案 「第4章 近世の日本 1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一」

全6時間 （新編 新しい社会 歴史・東京書籍）

I 研究の概要

本研究は、中学校歴史学習において、学習過程に2つの学習問題を設定することで、歴史理解と見方・考え方を育成することを目指したものである。具体的には、単元の学習内容の追究を目指す学習問題①と、学習問題①で学んだ歴史と現代のつながりについて思考する学習問題②を設定した単元計画を作成し、実践した。

学習する単元は「ヨーロッパ人の来航と全国統一」とした。この単元は、学習問題①の歴史理解において、昨今のグローバル化に向けて日本史と世界史の関連性を重視した授業づくりができ、かつ、近代以降に比べ授業実践例が少ない。そして、学習問題②においても、現代から時間の離れた単元について思考することで、他の単元に活用できるかどうかの指標となると考えた。以下に単元計画（表1）、学習指導案を提示する。

II 単元計画

表1 単元計画

第1時では、これまでの歴史学習において日本と世界にどのような関連があり、それが現代にどのような影響を与えているかについて思考させた。この時間は、本研究のスタートとして、既習事項から歴史理解と見方・考え方の育成の両輪を高めることを意識づけるために実施した。

第3時には、本単元の前半の学習から現代へのつながりについて思考させた。なお、前半の学習（第2・3時）では、物や出来事を中心とした日本と世界のつながりについて学習した。

第4時には、ヨーロッパの世界進出の背景について学習した。前述のとおり、日本史を先に学んでから背景の世界史を調べていくことで、日本史と世界史がより関連付けやすくなった。

第5・6時には、ヨーロッパ人の世界進出の背景を現代に活用するように思考させた。宗教対立等の現代につながる資料を提示することで、歴史と現代のつながりについて捉えさせることができた。なお、評価の観点だが、中教審答申や新学習指導要領の記載をもとに、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で記載している。

学習内容	時数	学習問題① (単元の学習内容の追究を目指したもの)	学習問題② (歴史と現代のつながりについて思考したもの)	使用教材 思考ツール
これまでの歴史学習における日本と世界の出会い	1	これまでの歴史学習で、日本は世界とどのような出会いがあったか振り返ろう	これまでの世界との出会いが、現代にどのような影響を与えているのか考えよう	ワークシート ピラミッドチャート コンセプトチャート
ヨーロッパ人との出会いによる日本の変化① (鉄砲、キリスト教伝来)	2	ヨーロッパ人との出会いによって日本はどのように変化したのだろうか		ワークシート 鉄砲伝来資料 キリスト教伝来資料
ヨーロッパ人との出会いによる日本の変化② (南蛮貿易)	3	ヨーロッパ人との出会いは鉄砲・キリスト教伝来の他に、どのような変化をもたらしたのだろうか	ヨーロッパ人との出会いによる日本の変化が、現代にどのような影響を与えているのか考えよう	ワークシート 南蛮貿易品 ピラミッドチャート コンセプトチャート
ヨーロッパ人の世界進出の背景(大航海時代、キリスト教布教)	4	なぜヨーロッパ人は、大変な思いをしてまで、世界に進出したのだろうか		ワークシート 当時の航海資料
ヨーロッパ人の世界進出の背景と知識の活用	5	ヨーロッパ人の世界進出の目的をまとめ、その知識を活用しよう		ワークシート 「コンドルは飛んでいく」音楽、歌詞 現代へ活用する資料
ヨーロッパ人の世界進出の背景から構想する	6		ヨーロッパ人の世界進出の背景に関する知識は、どのように活用することができるだろうか	ワークシート 現代へ活用する資料 感想用紙

Ⅲ 指導案・資料

1 第1時の指導案

(1) 本時の指導計画 (1/6) 「歴史理解」・「見方・考え方の育成」

ア 本時の目標

- ・これまでの歴史学習における日本と世界との出会いについて、教科書から抽出することができる。【知識・技能】
- ・これまでの世界との出会いについて抽出した資料から、現代にどのような影響を与えているか考えることができる。【思考力・判断力・表現力】

イ 展開

時配	学習内容と活動	形態	指導上の留意点(□)と評価(●)	資料(△)
導入 10分	<p>○インド・中国・日本の仏像を対比した資料を提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの国の仏像か？ ・古い順に並べてみよう ・類似点や相違点は？ <p>○南蛮貿易で日本に入ってきた時計資料を提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これは何を表しているか？ ・現代ではどんな形か？ ・類似点や相違点はあるか？ <p>○学習問題①提示</p>	一斉	<p>□導入なので、自由な気づきや発表ができる雰囲気づくり。</p> <p>□日本と世界の歴史には様々なつながりがあることを確認する。</p> <p>□歴史と現代のつながりについて確認する。</p>	<p>△プロジェクト</p> <p>△大型テレビ</p>
学習問題① これまでの歴史学習で、日本は世界とどのような出会いがあったか振り返ろう。				
展開 前段 15分	<p>○教科書から、これまでの歴史学習で日本と外国の出会いが記述されている箇所を抽出し、該当箇所に付箋を貼る。</p> <p>○班になり、個人で抽出した箇所を共有し、ワークシートのピラミッドチャートの下段に記入する。</p> <p>○班の代表に数か所発表させる。</p> <p>○学習問題②提示</p>	個人 班	<p>□米作りの伝来などの例を示す</p> <p>●これまでの歴史学習における日本と外国との出会いについて、教科書から抽出することができる。【知識・技能】</p> <p>□班の人数は3～4人。</p> <p>□発表を聞き、自分たちの班にないものは追加で記入させる。</p>	<p>△付箋</p> <p>△ピラミッドチャート</p>
学習問題② これまでの世界との出会いが、現代にどのような影響を与えているのか考えよう。				

<p>展 開 後 段 10 分</p>	<p>○教科書から抽出した項目を「現代に影響を与えているもの」と「現代に少し影響を与えているもの」に分類し、ピラミッドチャートの中段と上段に記入する。</p>	<p>個人</p>	<p>□作業に困っている生徒に対して支援する。</p>	<p>△ピラミッドチャート</p>
<p>ま と め 10 分</p>	<p>○ピラミッドチャート上段に記入した項目について、コンセプトチャートを用いて現代にどのようなつながりがあるか考える。</p> <p>○作成した2つのチャートをもとに、「今までの世界との出会いが、現代にどのような影響を与えているか」記述する。</p> <p>○数名に発表させる。</p> <p>○次時の連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の取り組みの復習 「日本と外国の出会いと構想」 ・ヨーロッパ人との出会いを同様の視点で学習していくことを確認する。 <p>○ワークシートの回収</p>		<p>□コンセプトチャートについて説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仏教について作成したものを例示する。 「テーマ」 ・政治 ・経済 ・文化 ・伝統 ・その他 <p>●これまでの外国との出会いについて抽出した資料から、現代にどのような影響を与えているか考えることができる。【思考力・判断力・表現力】</p> <p>□日本と世界の出会いに関する学習と、出会いから現代を構想する学習を次時以降実施していくことを確認する。</p>	<p>△コンセプトチャート</p>

2 第2時の指導案

(1) 本時の指導計画 (2/6) 「歴史理解」

ア 本時の目標

- ・ヨーロッパ人との出会いによって日本はどのように変化したのか、ワークシートに記入することができる。【知識・技能】

イ 展開

時配	学習内容と活動	形態	指導上の留意点(□)と評価(●)	資料(△)
導入 10分	○種子島視察の写真を提示する。 ・岬 ・船(ポルトガル、種子島) ・ポルトガル人来航記念碑 ・鉄砲の比較(ポルトガル、種子島) ○本時の学習問題	一斉	□来航時の様子を補足説明しながら進めていく。 □導入なので、自由な気づきや発表ができる雰囲気づくり。	△大型テレビ △パソコン
学習問題 ヨーロッパ人との出会いによって、日本はどのように変化したのだろう				
展開 前段 15分	○鉄砲の伝来についてワークシートに教科書、資料集を見ながら記入する。 ・鉄砲が伝わる前はどのような武器が主流だったのだろうか？ ・鉄砲は当時の日本のどのような立場の人に注目されたか？ ・鉄砲は日本のどこで造られるようになったか？ ・伝わった鉄砲はその後の日本の戦にどのような影響を与えたか？ ・マメ知識 ○調べた内容について数名指名して発表させる。 ○生徒の発表を受けて教師がまとめる。	個人	□記入できない生徒について支援する。 ●ヨーロッパ人との出会いによって日本はどのように変化したのか、ワークシートに記入することができる。【知識・技能】 □教科書P104, 105からと伝える。 □話を聞くように声掛けする。 □鉄砲づくりの逸話について、興味を高めるために、教師から説明する。	△ワークシート △教科書 △資料集
展開 後段 15分	○フランシスコザビエルの資料を提示する。 ・人物名は？ ・何を伝えた人か？ ・何年に日本へやってきたか？ ○キリスト教の伝来についてワ		□学習対象が変わるので、自由な気づきや発表ができる雰囲気づくり。 □記入できない生徒について支	△大型テレビ △パソコン

	<p>ークシートに教科書、資料集を見ながら記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教が伝わる前はどのような宗教が主流だったのだろうか？ ・キリスト教はどの地域の戦国大名に注目されたか？ ・伝わったキリスト教はその後の日本でどうなっていくか？ <p>○調べた内容について数名指名して発表させる。</p> <p>○生徒の発表を受けて教師がまとめる</p>		<p>援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ヨーロッパ人との出会いによって日本はどのように変化したのか、ワークシートに記入することができる。【知識・技能】 <p>□話を聞くように声掛けする。</p>	
まとめ 10分	<p>○本時の学習問題を再度確認する。</p> <p>○本時の学習問題に対するまとめを各自で記入する。</p>	個人	<p>□記入できない生徒について支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ヨーロッパ人との出会いによって日本はどのように変化したのか、ワークシートに記入することができる。【知識・技能】 	△ワークシート
まとめ(模範): 鉄砲が伝わり、戦国時代の日本の戦術や築城技術に影響を与えた。また、キリスト教が伝わり、九州地方の大名を中心に信者が増えていった。				
	<p>○ワークシートを回収する。</p> <p>○次時の連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄砲、キリスト教伝来の他にどのような変化があったか。 ・ヨーロッパ人との出会いによる変化から現代にどのような影響を与えているだろうか。 			

3 第3時の指導案

(1) 本時の指導計画 (3/6) 「歴史理解」・「見方・考え方の育成」

ア 本時の目標

- ・ヨーロッパ人との出会いは鉄砲、キリスト教伝来の他にどのような変化をもたらしたか、ワークシートに記入することができる。【知識・技能】
- ・ヨーロッパ人との出会いによる日本の変化は、現代にどのような影響を与えているか考えることができる。【思考力・判断力・表現力】

イ 展開

時配	学習内容と活動	形態	指導上の留意点(□)と評価(●)	資料(△)
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ○ポルトガル起源の実物を提示する。 ・パン ・カステラ ・コンペイトウ ・カボチャ ○知っているものがあるか質問する。 ○これらはみな、ヨーロッパ人との出会いによって日本に入ってきたものであると説明する。 ○学習問題①を提示する。 	一斉	<ul style="list-style-type: none"> □導入なので、自由な気づきや発表ができる雰囲気づくり。 	<ul style="list-style-type: none"> △パン △カステラ △コンペイトウ △カルタ △カボチャ
学習問題① ヨーロッパ人との出会いは、鉄砲・キリスト教伝来の他に、どのような変化をもたらしたのだろうか。				
展開 前 段 15分	<ul style="list-style-type: none"> ○ヨーロッパとの貿易を何貿易というか質問する。 ・南蛮貿易 ○南蛮貿易の輸入品と輸出品をワークシートに教科書、資料集を見ながら記入する。 ○南蛮貿易の前は、日本はどこと貿易していたか質問する。 ・中国(明) ・朝鮮 ・蝦夷 ・琉球 ○数人に発表させる。 ○日本はアジアだけでなく、ヨーロッパとも交流を持つようになったことを確認する。 	個人	<ul style="list-style-type: none"> □記入できない生徒について支援する。 ●ヨーロッパ人との出会いは鉄砲、キリスト教伝来の他にどのような変化をもたらしたか、ワークシートに記入することができる。【知識・技能】 □発表者の話を聞くように声掛けする。 	<ul style="list-style-type: none"> △ワークシート △教科書 △資料集

4 第4時の指導案

(1) 本時の指導計画 (4/6) 「歴史理解」

ア 本時の目標

- ・ヨーロッパ人の世界進出の背景について、ワークシートに記入することができる。

【知識・技能】

イ 展開

時配	学習内容と活動	形態	指導上の留意点(□)と評価(●)	資料(△)
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ○前時までの復習をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・鉄砲、キリスト教の伝来 ・南蛮貿易による物品の往来 ・アジアだけでなくヨーロッパとの交流の開始 ○自分なら長い船旅に向けて何を積んでいこう？ <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの食糧 ・水 ○当時の航海の実態について資料を提示する。 <ul style="list-style-type: none"> ・食料 ・生還率 ・衛生環境 ○当時の航海の実態について感じたことを発表させる。 	一斉	<ul style="list-style-type: none"> □前時までを振り返り、本時から世界史的視点を持つよう伝える。 □導入なので、自由な気づきや発表ができる雰囲気づくり。 	<ul style="list-style-type: none"> △前時ノート △マゼラン航海記 △航海の献立 △生還率 △壊血病
学習問題 なぜヨーロッパ人は大変な思いをしてまで、世界に進出したのだろうか。				
展開 30分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習問題に対する予想を立てさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・未開の地を発見したい気持ち ・宝の発見 ・自分の力を認めさせる ○P100、101を読み、当時のヨーロッパの実態について学習する。 <ul style="list-style-type: none"> ・キリスト圏とイスラム圏 ・キリスト圏内の宗教改革 ○ヨーロッパの実態を踏まえて、キリスト布教の目的があったことについて確認する。 ※予想との関連付け (自分たちの力を認めさせる) ○当時のヨーロッパにとっての宝は何かクイズを出す。 	班	<ul style="list-style-type: none"> □予想しやすいようにいろいろな考えを取り上げる雰囲気づくり。 □内容に配慮して必要なことを説明するようにする。 □勢力圏を視覚的に捉えるため、地図を使用する。 ●ヨーロッパ人の世界進出の背景について、ワークシートに記入することができる。【知識・技能】 □興味をひくため、実物を提示して質問する。 	<ul style="list-style-type: none"> △地図 △ワークシート △金、こしょう、しょうゆ、酒

	<p>「金と同等の価値があるものは何か？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しょうゆ ・こしょう ・酒 <p>○なぜコショウは価値があるのか？</p> <p>○コショウなどの香辛料を求めた目的があったことを確認する。</p> <p>○スペインとポルトガルが当時の航海の主役であったことを伝え、両国の航海の概要について学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航海者 ・航路 		<p>●ヨーロッパ人の世界進出の背景について、ワークシートに記入することができる。【知識・技能】</p>	<p>の実物</p>
<p>ま と め 10 分</p>	<p>○学習問題を教師が振り返り、生徒にまとめを記入させる。</p>	<p>個人</p>	<p>□記入できない生徒について支援する。</p>	<p>△ワークシート</p>
<p>まとめ(模範)</p> <p>①イスラム教との対立から、キリスト教の布教を目的としていた。</p> <p>②当時貴重な価値があった香辛料を求めていた。</p> <p>③航海によって得られる富と名声を求めていた。</p>				
	<p>○ワークシートを回収する。</p> <p>○次時の連絡。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ人の世界進出のつづき 			

5 第5時の指導案

(1) 本時の指導計画 (5/6) 「歴史理解」 「見方・考え方の育成」

ア 本時の目標

- ・ヨーロッパ人の世界進出の背景についてまとめることができる。

【知識・技能】

イ 展開

時配	学習内容と活動	形態	指導上の留意点(□)と評価(●)	資料(△)
導入 10分	○前時までの復習をする。 ・キリスト教布教 ・香辛料求めて ・富と名声を得る ○学習問題を提示する。	一斉	□前時までを振り返り、本時の学習につなげていく。	
学習問題 ヨーロッパ人の世界進出の背景についてまとめ、その知識を活用しよう				
	○「コンドルは飛んでいく」の音楽を流す。 ・曲を知っているか？ ・どんな印象を受けたか？ ○曲名を伝え、歌詞を配布し、再度音楽を聴き、質問する。 ・どこの州と関係のある曲か？ 「南アメリカ州」 ・かつてなんという国があったか？ 「インカ帝国」 ・この国はどうなってしまったか？ 「白人によって滅ぼされた」 ・どこの国に滅ぼされてしまったか？ 「スペイン」 ・なぜインカ帝国にやってきたか？ 「宝を求めて」 ・宝とは何か？ 「香辛料」		□どんな印象を受けるか考えながら聞くように伝える。 □導入なので、自由な気づきや発表ができる雰囲気づくり。	△曲 CD △CD ラジカセ
展開 25分	○スペインとポルトガルの到達後の行動について教科書を読んで学習する。 ・教科書P102 12行目 ・教科書P103 3行目 スペイン：植民地化、布教 ポルトガル：植民地化、中継貿易、布教	個人	●ヨーロッパ人の世界進出の背景について、ワークシートに記入することができる。【知識・技能】 □教科書 P102の植民地分布図にも着目させる。	△ワークシート △教科書 △資料集

	<input type="radio"/> 数名に発表させる。 <input type="radio"/> 発表を受けて教師の見解を述べる。 <input type="radio"/> ヨーロッパ人の世界進出の背景について、前時からの学習内容を含めてまとめる。		<input type="checkbox"/> 発表者の話を聞くように声掛けする。 <input type="checkbox"/> ヨーロッパ人の航海についてアジアやアメリカなどの様々な立場を踏まえて考えさせる。	
まとめ(模範) (1)イスラム教との対立から、キリスト教の布教を求めた。 (2)当時貴重だったアジアの香辛料を求めた。 (3)富と名声を得るためにも、危険を顧みず航海した。 (4)ヨーロッパ勢力拡大のために植民地支配した。				
展開後段 10分	<input type="radio"/> 歴史の知識の活用について考える。 ・歴史の知識の活用について説明する。 ・説明を受けて班で資料を調べ、考えてみる。	班	<input type="checkbox"/> 考えるのが難しい生徒について支援する。 <input type="checkbox"/> 具体例を提示して知識の活用について説明する。	△資料 ・現代の紛争 ・日本の貿易 ・近代の植民地支配図
まとめ 5分	<input type="radio"/> 途中までできている数名の生徒の考えを紹介する。 <input type="radio"/> 次時の連絡。 ・ヨーロッパ人の世界進出の背景に関する知識は、先の時代にもどのように活用できるか考え、まとめよう。	班	<input type="checkbox"/> 次時に続きを行うので、途中まででも構わない旨を生徒に伝える。	

6 第6時の指導案

(1) 本時の指導計画 (6 / 6) 「見方・考え方の育成」

ア 本時の目標

- ・ヨーロッパ人の世界進出の背景は、次の時代や現代、未来にどのように活用できるか考え、まとめることができる。【思考力・判断力・表現力】
- ・単元の学習を通して、日本史と世界史のつながりを理解し、歴史と現代の関係について考えることができる。【主体的に学習に取り組む態度】

イ 展開

時配	学習内容と活動	形態	指導上の留意点(□)と評価(●)	資料(△)
導入 5分	○歴史の知識の活用について前時の復習をする。 ○学習問題を提示する。	一斉	□前時までの学習を丁寧に振り返りようとする	△前時の学習資料
学習問題 ヨーロッパ人の世界進出の背景は、次の時代や現代、未来にどのように活用できるか考え、まとめよう。				
展開 前段 20分	○歴史の活用について分担したものを個人で考え、まとめていく。 ○班の中でまとめたものを発表しあう。 ○教師主導で振り返る。 ・グローバル化についてふれる。	個人 班	□記入の進まない生徒を中心に支援していく。 ●ヨーロッパ人の世界進出の背景は、次の時代や現代にどのように活用できるか考え、まとめることができる。【思考力・判断力・表現力】 □大航海時代の世界が、現代のグローバル化と似ていることについてふれる。(単元全体の学び)	△前時までの学習資料 △ワークシート
展開 後段 15分	○単元の感想を書かせる。 ○感想用紙を回収する。	一斉	□単元全体を振り返り記入するよう伝える。 □今までの授業ファイルを見直すよう伝える。 ●単元の学習を通して、日本史と世界史のつながりを理解し、歴史と現代の関係について考えることができる。【主体的に学習に取り組む態度】	△単元のまとめ感想用紙 △これまでの授業記録
まとめ 10分	○数名の生徒に感想を発表させる。 ○教師による単元の振り返り。	一斉	□発表者の話を聞くように声掛けする。	